
2017年9月30日(土) 師崎 タチウオ釣り 七福丸 ツレと
若潮:旧8/11 満潮 00:43(144cm) 干潮 07:54(64cm) 満潮 15:11(166cm) 神島
タチウオ 58尾 最大指3本 アベレージサイズは指2本

3時00分 起床	3時30分 出発	7時54分 干潮64cm (神島)
4時50分 現地着		13時00分 納竿 沖上がり
6時00分 出船		13時40分 港着
6時40分 釣り場着		14時10分 帰路

【料金】 乗り合い 7,500円 エサ、仕掛け、氷付き 釣り座は受付順

【仕掛け】 電動リール使用 竿受けが必要 おもり 80号
竿 YOIKA BB (自分) ライトゲーム モデラート(ツレ)

サービスの仕掛け : 七福丸のオリジナル

Hayabusa 船太刀魚 2段鉤 鉤 1/0 2/0号 ハリス8号 全長0.7m
ダブルスナップサルカンの一方に鉤0/2が、他方に鉤0/1号が付けてある。
ハリス8号にサルカンに結んである。
ハリスにはピンク色のタコベイトが通してある。

オモリ80号 天秤は、船上で借りる。タチウオがPEラインを切ることがあり、天秤ごとなくなることがある。そのときは、700円を払って、新しい天秤、オモリを借りる。仕掛けは1つついてくる。

※ 次回は、ハリスを1.5m~2mのものを自作していくこと。市販仕掛けは2mになっている。
タコベイトの色やチモトのパイプも工夫する。

隣で釣っていいベテランは、ハリスが長かった。タコベイトは蛍光グリーンだった。

【様子】

- 曇り。強風。波は高い。酔い止めを飲んだ。自分は酔わなかったが、ツレはやや気分が悪くなった。
- 釣り座は受付順。受付をしたらすぐに船に乗り込んで場所を決める。
- HPには「乗船45分から60分前までには受付をする」とある。乗船70分前に受付をしたところ、ほとんど席は埋まっていた。左舷の胴に二人並んで座ることができた。この席はたまたま大きなクーラーボックスを置くことができた。
- 今日は満席。隣との間隔が狭い。
- 風が強いこともあって、お祭りが多い。中乗りさんが二人いて、絡んだ糸を外してくれる。
- 絡んだときに、タチウオの歯がPEラインにあたり、PEラインに傷がつく、または、切れてしまう。
- 終了15分前というアナウンスがあったとき、タチウオがヒット。巻いてくる途中で、高切れ。45m上で切れてしまった。その少し前に、裏側の人とお祭りした。このとき、タチウオの歯がPEラインを傷つけていたのだろう。片付けることにした。
- ツレが他の人とお祭りして、中乗りさんがほどいていたときに、誤って電動リールのスイッチを入れてしまった。2番目と3番目の間で竿が折れてしまった。
- タチウオの刺身のさばき方を教えてもらった。タチウオの刺身はおいしい。
- 鱗がないので、さばきやすい。釣り上げたときに血抜きが必要である。
- 小さいものはリリースすること。食べる場所がない。
- 水深 60mから90mだった。

- 仕掛けを底まで落とし、そこから20m上までを狙う。
- 「誘いを掛けずに、そのままゆっくり巻き上げてくる。」とアナウンスがあったが、常連さんは誘いを頻繁に掛けている。
- 誘いを掛けすぎるとよくないと考え、ときどき誘いを掛けた。誘いを掛けなくても当たってくることもあったが、誘いをかけると当たるということもあった。誘いを掛けたときに当たりがあると、気持ちがいい。
- 常連さんが数が多く、良型をつっている。自作仕掛けである。ハリスが長く、タコベイトは蛍光グリーンだった。小さく竿先を振って誘っている。
- シーボーグはスピード13～15で巻きながら、小さく誘いを入れる。コツコツと当たりがあって、合わせても乗らないことが多かった。コツコツと前当たりがあって、グッと本当たりがあるという感じである。
- 当たりがあるが、掛からないということが2～3回あれば、エサチェックをする。
- キャッチで当たることもあったが、多くはなかった。
- 底から20m上までを2往復しても当たらなければ、エサチェックをする。
- 巻き上げ途中で、軽くなることもあるが、こちらに向かって泳いで来るのであろう。さらにスピードを上げた。
- 釣れているときに絡むことが多かったので、掛かったときの巻き上げは、速いスピードがよいだろう。